

令和2年度
天理市政アンケート
調査報告書

令和3年3月
天理市

目次

アンケート調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 報告書の注意点	1
(5) 政策体系と質問項目の関係	1
調査結果	
1. 市の取組みについて	2
(1) 住みやすさ	2
(2) 保育サービスの充実	3
(3) 安心して医療を受けられるか	4
(4) 天理市で就職したいか	5
2. SDGs 認知度について	6
3. 充実度・重要度について	7
(1) 計算方法	7
(2) 充実度（充実率・非充実率）	8
(3) 重要度	9
(4) 充実度・重要度一覧	10
(5) 分野別にみる重点政策	11
(6) 施策指標値の分析	12
4. 10年後の天理市について	13
5. 男女共同参画について	14
自由意見	17
巻末資料	35
1. 回答者の属性	35
2. アンケート調査票	36

アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、まちづくりを進めていくうえで、みなさまの市政に対するご意見、ご要望などをお聴きし、総合計画の進捗管理、施策の評価や改善など、今後の方向性を決める基礎資料として活用することを目的としています。

(2) 調査方法

1. 調査対象

令和2年10月31日時点で天理市内に在住する18歳以上の方3,000人
(住民基本台帳および外国人登録データから無作為抽出)

2. 実施方法

郵送による調査票の配布

郵送およびインターネットによる回収

3. 調査期間

令和2年11月13日(金)～令和2年11月30日(月)

(3) 回収結果

対象者：3,000人

有効回答数：1,181人(うち、インターネット回答：239人)

回収率：39.4%

(4) 報告書の注意点

- ・百分率(%)は小数第2位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の構成比率の合計は100%になりません。
- ・一部の人を対象とする質問では、対象者数を分母にして比率を算出しています。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

(5) 政策体系と質問項目の関係

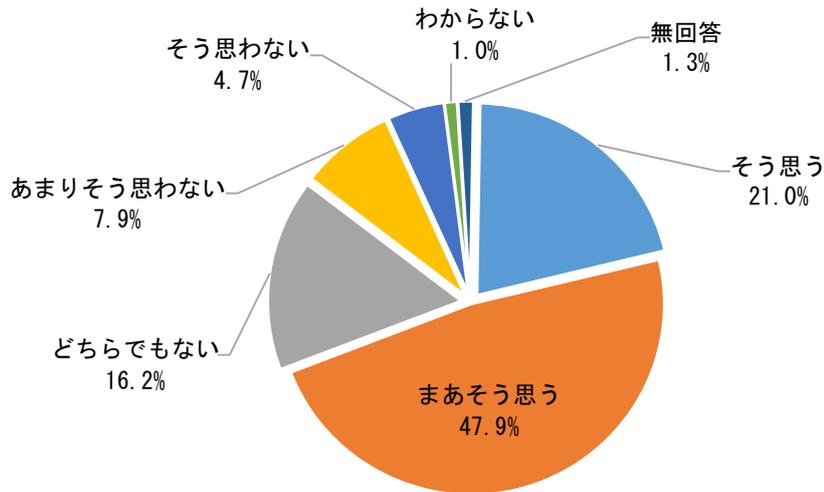
本調査の充実度、重要度の項目は、「天理市第6次総合計画(令和2～6年度)」の施策を基本としており、政策ごとに充実度を質問しています。この充実度は「天理市第6次総合計画」の指標として取り入れるものとしています。

調査結果

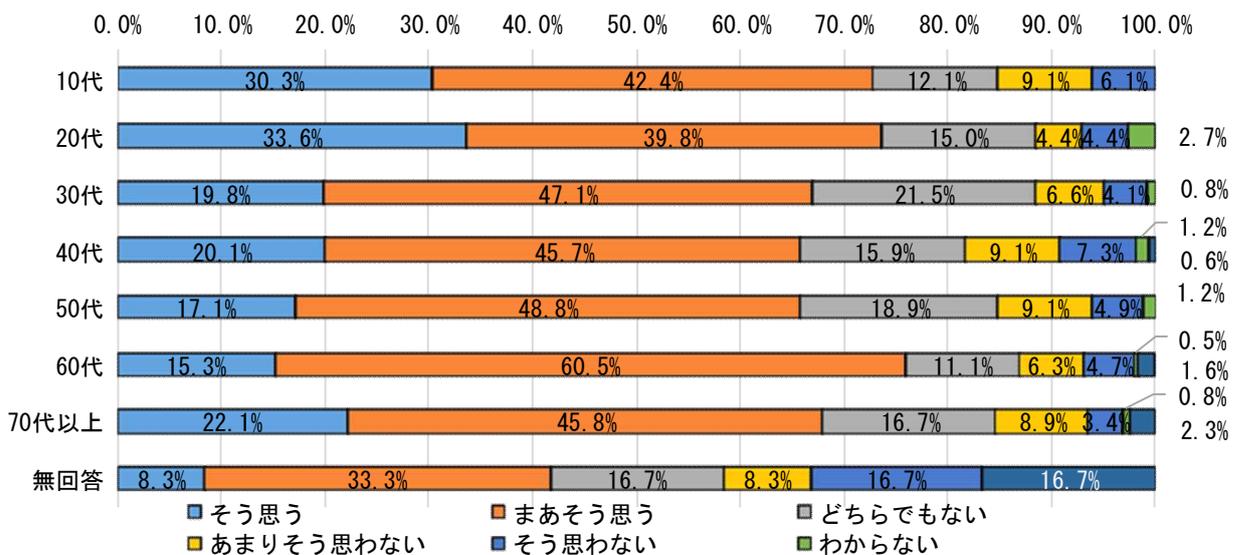
1. 市の取組みについて

(1) 天理市は住みやすいと思いますか。

「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人を合わせると、68.9%の人が住みやすいと感じています。(令和元年度：73.1%、平成30年度：62.1%、平成29年度：62.4%、平成28年度：62.2%)

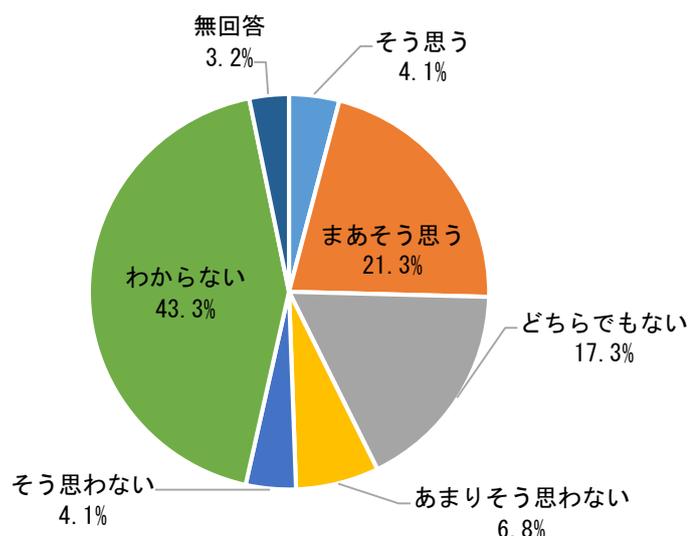


年代別

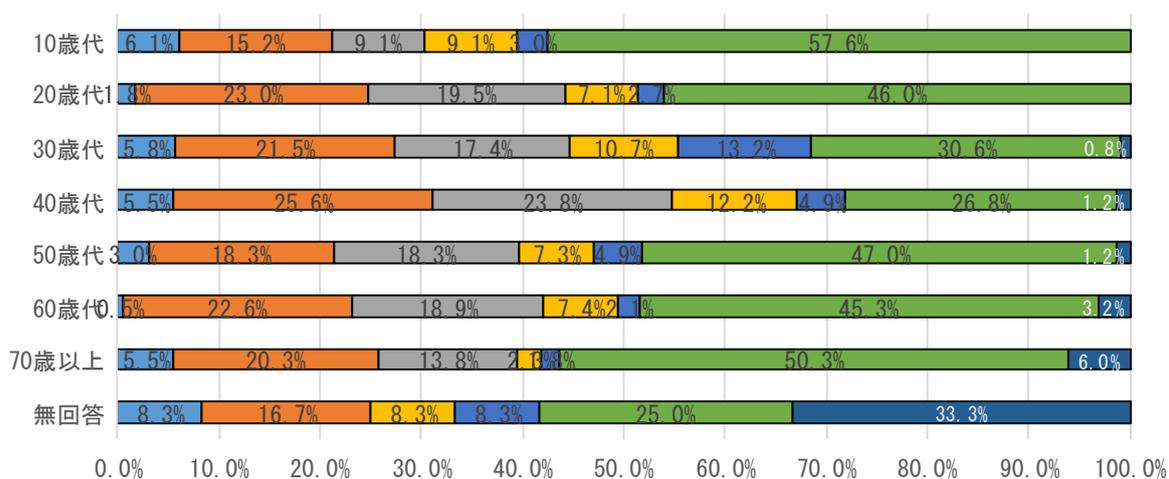


(2) 保育サービスの充実に満足していますか。

全体としては、充実している（「そう思う」「まあそう思う」）と回答した方が25.4%となりました。（令和元年度：32.7%、平成30年度：22.5%、平成29年度：22.3%、平成28年度：24.2%）年代別では、40代が「そう思う」「まあそう思う」と回答した割合が最も多くなっています。



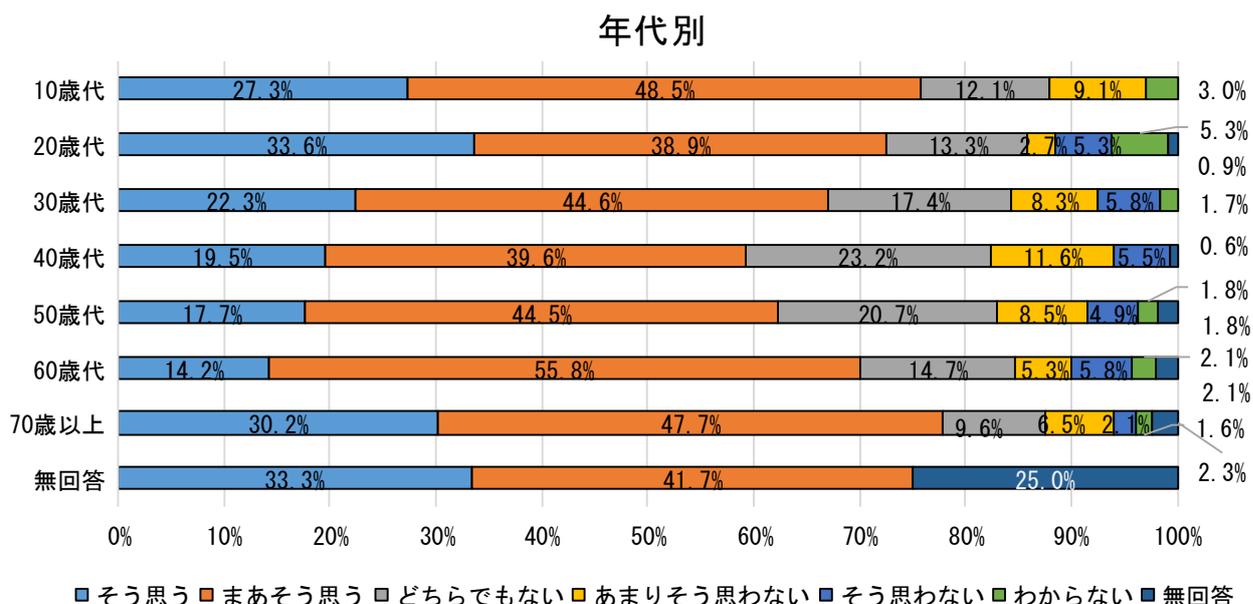
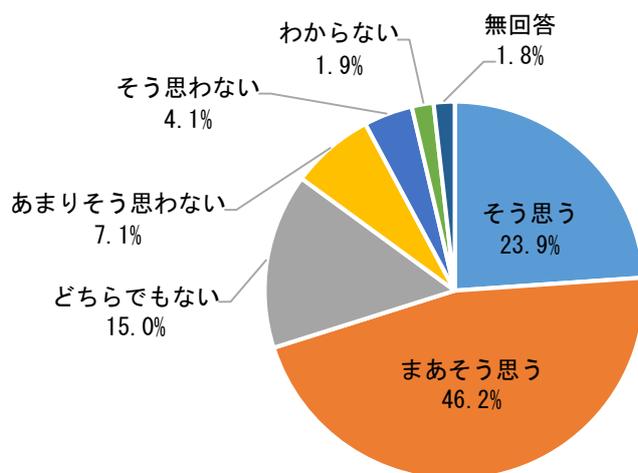
年代別



■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無記入

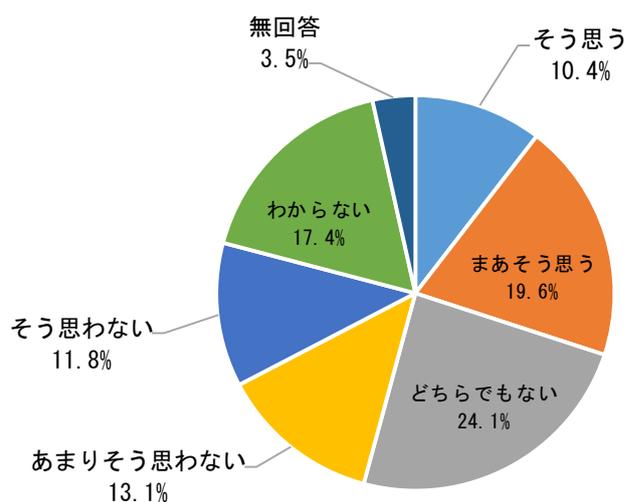
(3) 安心して医療を受けることができると感じますか。

全体としては、安心して医療を受けることができる（「そう思う」「まあそう思う」と回答した方が70.1%となり、年代別に見ても、10・20代、60・70代以上の70%以上が安心して医療を受けることができると回答しています。（令和元年度：44.8%、平成30年度：62.5%、平成29年度：57.2%、平成28年度：55.7%）

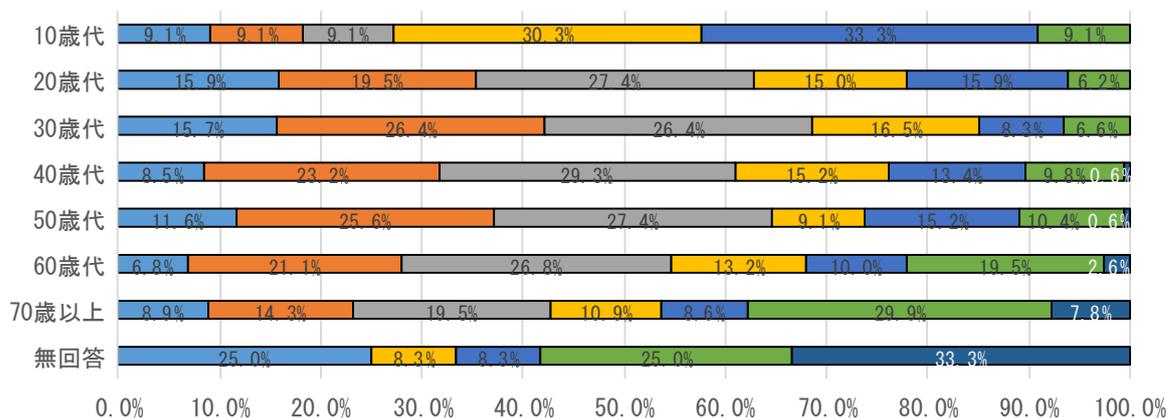


(4) 天理市で就職でしたいと思いますか。

全体としては、就職したいと思う(「そう思う」「まあそう思う」と回答した方が30.0%となりました。年代別では、30代が42.1%で最も高い結果となりました。働き盛りの世代や子育て世代が働ける場を増やしていく必要があります。



年代別

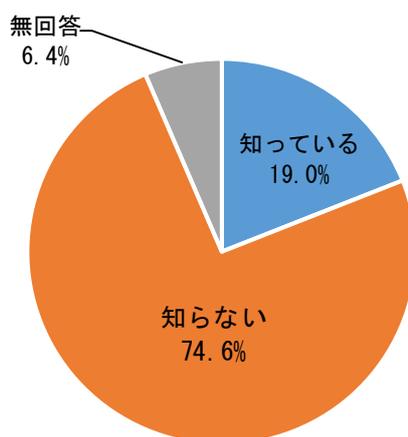


■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

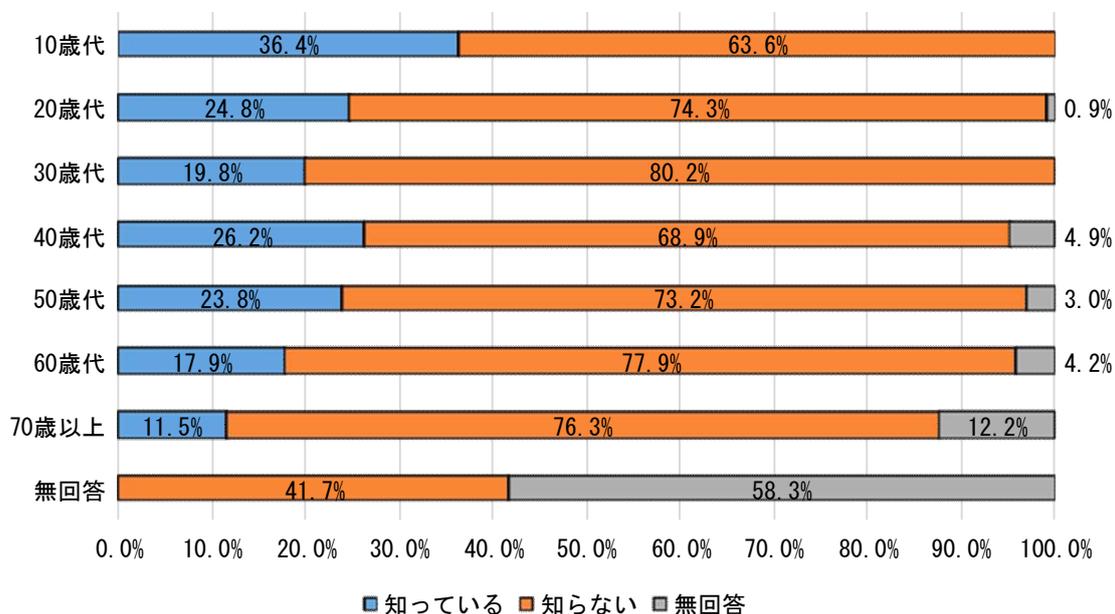
2. SDGs 認知度について

Q. SDGs（エスディージーズ）を知っていますか。

全体で見ると「知っている」と回答した方は 19.0%に留まっています。年代別に見ると、10代の認知度が最も高く 36.4%が「知っている」と回答しています。



年代別



SDGsとは？

平成 27 年（2015 年）に国連で採択された、地球環境や経済活動等に関して、人類の営みを持続可能なものとするために取り組むべき内容として採択された、「持

続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。

3. 充実度・重要度について

(1) 計算方法

【充実度】

項目	点数
充実していると思う	2点
まあ充実していると思う	1点
どちらともいえない	0点
あまり充実していると思わない	-1点
充実していないと思う	-2点

各取組みについて、選択した項目により上記点数表に基づき点数を出し、回答者の割合を充実率、非充実率としています。（充実度についてはP8「(2) 充実度」を参照）

また、充実率、非充実率から充実度スコアを出しています。（P10「(4) 充実度・重要度一覧」を参照）

充実度スコア＝

充実率（「充実している」「まあ充実している」と答えた人の割合）

－非充実率（「あまり充実していると思わない」「充実していない」と答えた人の割合）

※充実度スコアがプラスの場合は、充実していると感じている人が充実していないと感じている人より多いということです。

【重要度】

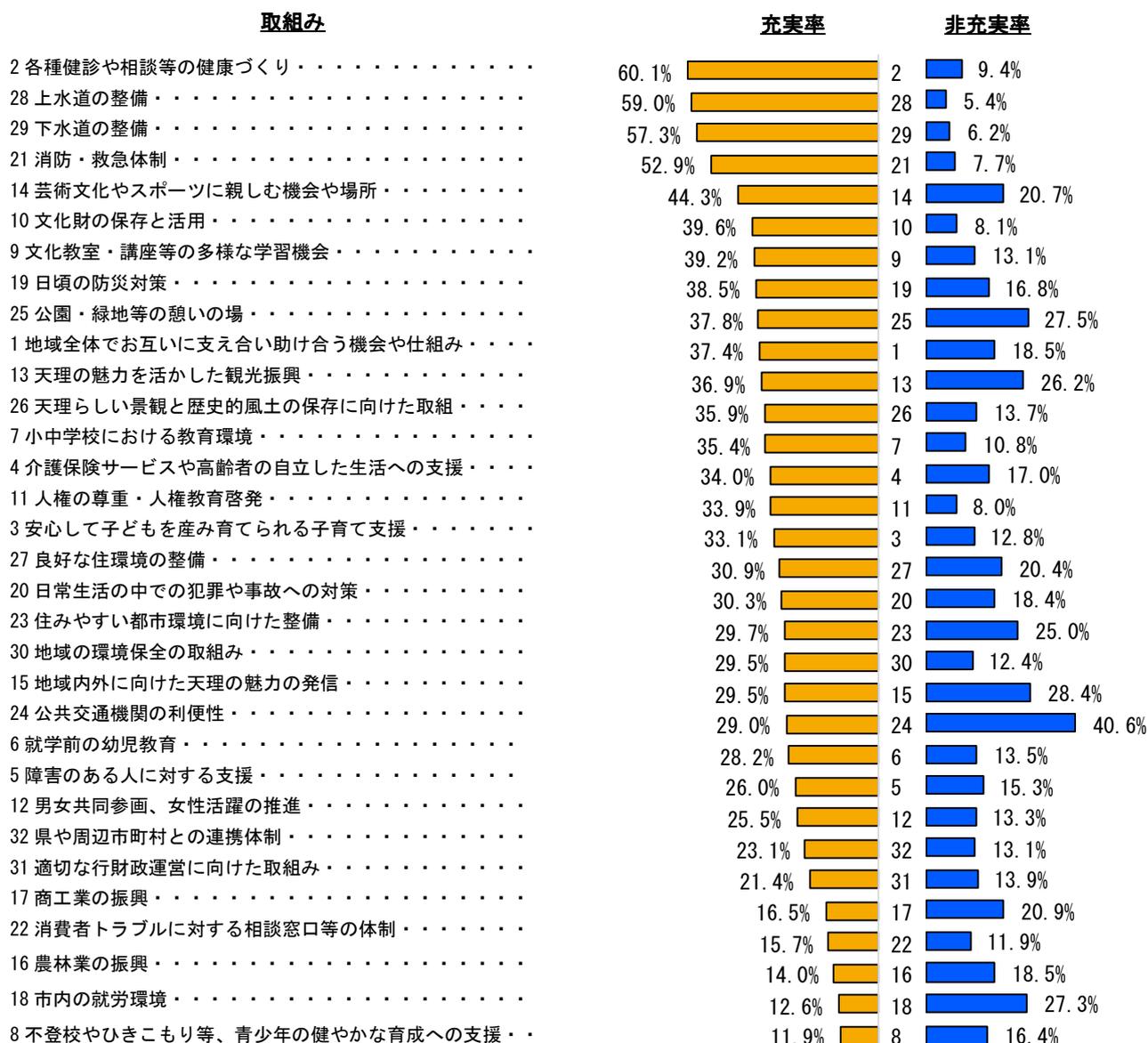
項目	点数
重要度1	3点
重要度2	2点
重要度3	1点

各取組みについて、選択した項目により上記点数表に基づき点数を出し、回答者の割合を重要度としています。（P9「(3) 重要度」を参照）

(2) 充実度 (充実率・非充実率)

Q. 天理市の各取組みについて、充実していると思いますか。

「2 各種健診や相談等の健康づくり」「28 上水道の整備」「29 下水道の整備」が「充実している」との回答が約6割である一方で、「24 公共交通機関の利便性」は約4割の方が「充実していないと思う」と回答しています。



(3) 重要度

Q. 天理市の各取組みについて重要だと思う順に3つ挙げてください。

順位	取組み番号・取組み	点数	重要度
1	4.介護保険サービスや高齢者の自立した生活への支援	1329	10.6%
1	3.安心して子どもを産み育てられる子育て支援	1320	10.6%
3	23.住みやすい都市環境に向けた整備	1061	8.5%
4	24.公共交通機関の利便性	772	6.2%
5	7.小中学校における教育環境	643	5.1%
6	20.日常生活の中での犯罪や事故への対策	598	4.8%
7	19.日頃の防災対策	578	4.6%
8	1.地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組み	513	4.1%
9	21.消防・救急体制	470	3.8%
9	31.適切な行財政運営に向けた取組み	470	3.8%
11	6.就学前の幼児教育	455	3.6%
12	27.良好な住環境の整備	431	3.4%
13	2.各種健診や相談等の健康づくり	415	3.3%
13	18.市内の就労環境	374	3.0%
15	8.不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援	349	2.8%
16	17.商工業の振興	315	2.5%
17	5.障害のある人に対する支援	281	2.2%
18	13.天理の魅力を活かした観光振興	265	2.1%
18	16.農林業の振興	223	1.8%
20	25.公園・緑地等の憩いの場	223	1.8%
21	15.地域内外に向けた天理の魅力の発信	192	1.5%
21	32.県や周辺市町村との連携体制	183	1.5%
23	14.芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所	167	1.3%
24	26.天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み	152	1.2%
24	11.人権の尊重・人権教育啓発	137	1.1%
26	30.地域の環境保全の取組み	130	1.0%
26	9.文化教室・講座等の多様な学習機会	123	1.0%
28	12.男女共同参画、女性活躍の推進	91	0.7%
28	22.消費者トラブルに対する相談窓口等の体制	82	0.7%
30	10.文化財の保存と活用	60	0.5%
31	28.上水道の整備	55	0.4%
31	29.下水道の整備	48	0.4%

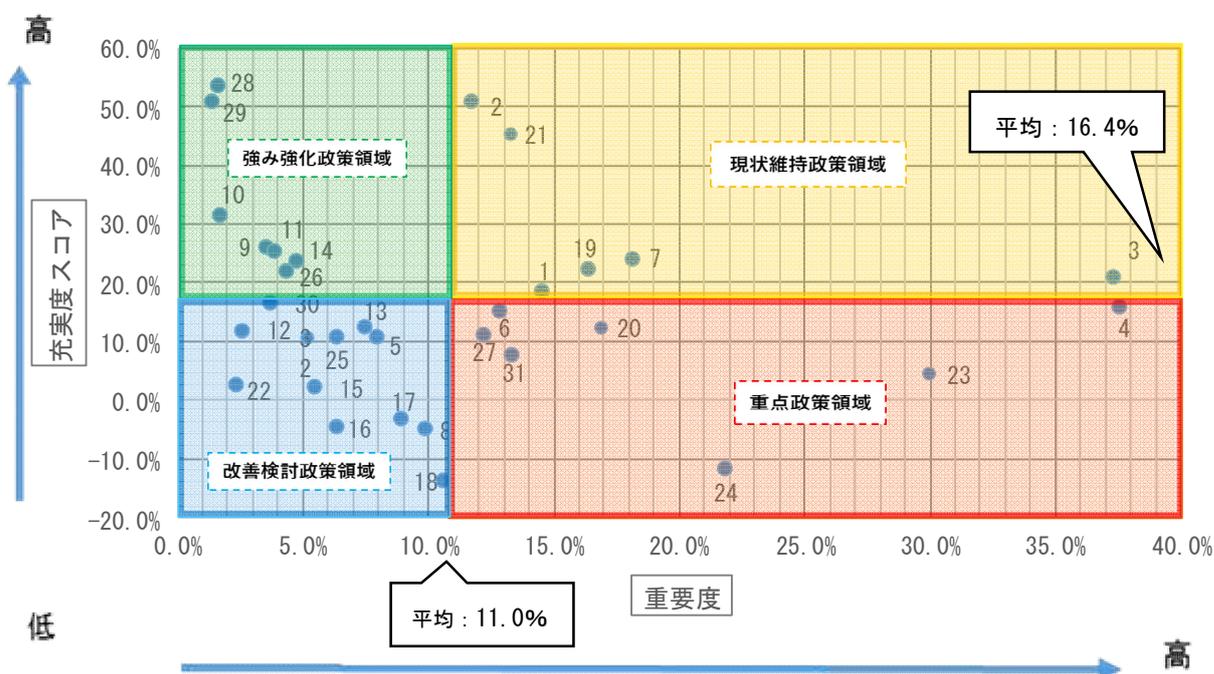
(4) 充実度・重要度一覧

	取組み	充実率 (A)	非充実率 (B)	充実度スコア		重要度	順位
				(A-B)	順位		
1	地域全体で互いに支え合い助け合う機会や仕組み	37.4%	18.9%	18.5%	13	4.1%	8
2	各種健診や相談等の健康づくり	60.1%	9.3%	50.8%	3	3.3%	13
3	安心して子どもを産み育てられる子育て支援	33.1%	12.2%	20.9%	12	10.6%	2
4	介護保険サービスや高齢者の自立した生活	34.0%	17.9%	16.0%	15	10.6%	1
5	障害のある人に対する支援	26.0%	15.1%	10.9%	21	2.2%	17
6	就学前・学校教育	28.2%	12.8%	15.4%	16	3.6%	10
7	小中学校における教育環境	35.4%	11.1%	24.2%	8	5.1%	5
8	不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援	11.9%	16.6%	-4.6%	30	2.8%	15
9	文化教室・講座等の多様な学習機会	39.2%	13.1%	26.1%	6	1.0%	27
10	文化財の保存と活用	39.6%	8.1%	31.6%	5	0.5%	30
11	人権の尊重・人権教育啓発	33.9%	8.4%	25.5%	7	1.1%	26
12	男女共同参画、女性活躍の推進	25.5%	13.5%	12.0%	19	0.7%	28
13	天理の魅力を活かした観光振興	36.9%	24.2%	12.7%	17	2.1%	18
14	芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所	44.3%	20.5%	23.8%	9	1.3%	23
15	地域内外に向けた天理の魅力を発信	29.5%	27.1%	2.4%	27	1.5%	21
16	農林業の振興	14.0%	18.4%	-4.4%	29	1.8%	20
17	商工業の振興	16.5%	19.4%	-2.9%	28	2.5%	16
18	市内の就労環境	12.6%	26.3%	-13.7%	32	3.0%	14
19	日頃の防災対策	38.5%	16.2%	22.3%	10	4.6%	6
20	日常生活の中での犯罪や事故への対策	30.3%	17.9%	12.4%	18	4.8%	7
21	消防・救急体制	52.9%	7.6%	45.3%	4	3.8%	11
22	消費者トラブルに対する相談窓口等の体制	15.7%	13.2%	2.6%	26	0.7%	29
23	住みやすい都市環境に向けた整備	29.7%	25.2%	4.6%	25	8.5%	3
24	公共交通機関の利便性	29.0%	40.8%	-11.7%	31	6.2%	4
25	公園・緑地等の憩いの場	37.8%	27.1%	10.7%	22	1.8%	19
26	天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み	35.9%	13.9%	22.0%	11	1.2%	24
27	良好な住環境の整備	30.9%	19.6%	11.3%	20	3.4%	12
28	上水道の整備	59.0%	5.3%	53.7%	1	0.4%	31
29	下水道の整備	57.3%	6.4%	51.0%	2	0.4%	32
30	地域の環境保全の取組み	29.5%	12.8%	16.6%	14	1.0%	25
31	適切な行財政運営に向けた取組み	21.4%	13.7%	7.7%	24	3.8%	9
32	県や周辺市町村との連携体制	23.1%	12.5%	10.6%	23	1.5%	22

(5) 分野別にみる重点政策

調査結果をもとに、充実度と重要度から第6次総合計画で市が取り組む7分野32政策について、重点政策領域にある政策を分析しました。充実度スコア・重要度については、前ページ「充実度・重要度一覧」のスコアを使用しています。

充実度スコアを縦軸に、重要度を横軸にとり、各項目の数値を点で示しています。充実度が全体平均より低く、重要度が全体平均より高い領域を「重点政策領域」として赤枠で示しています。この領域にある項目は、市民がまちづくりにとって重要だと感じているにもかかわらず、充実していない傾向にある政策のため、「重点政策」としました。

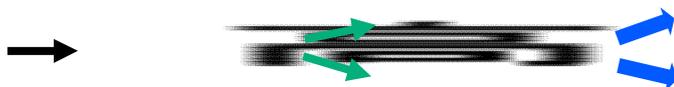


【平均値】 充実度 : 16.4% 重要度 : 11.0%

【重点政策領域の取組み】

- 4 介護保険サービスや高齢者の自立した生活
- 6 就学前・学校教育
- 20 日常生活の中での犯罪や事故への対策
- 23 住みやすい都市環境に向けた整備
- 24 公共交通機関の利便性
- 27 良好な住環境の整備
- 31 適切な行財政運営に向けた取組み

(6) 施策指標値の分析



第6次総合計画施策指標一覧

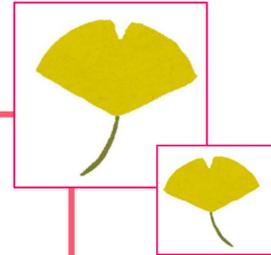
分野	政策	指標名	前年度 指標値 (充実率)	指標値 (充実率)	比較
誰もが地域で安心して 健やかに暮らせる「福祉」の充実	地域福祉	地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組み	32.9%	37.4%	→
	健康・保健・医療	各種健診や相談等の健康づくり	59.2%	60.1%	→
	子育て支援	安心して子どもを産み育てられる子育て支援	33.7%	33.1%	→
	高齢福祉	介護保険サービスや高齢者の自立した生活への支援	30.7%	34.0%	→
	障害福祉	障害のある人に対する支援	25.5%	26.0%	→
地域の資源や人材を活用し、 一人ひとりの豊かな未来を育む 「教育」の充実	就学前・学校教育	就学前の幼児教育	30.4%	28.2%	→
		小中学校における教育環境	48.3%	35.4%	→
	青少年・生涯学習	不登校やひきこもり等、青少年の健やかな育成への支援	14.7%	11.9%	→
		文化教室・講座等の多様な学習機会	31.1%	39.2%	→
	文化財	文化財の保存と活用	37.3%	39.6%	→
人権・男女共同参画	人権の尊重・人権教育啓発	33.0%	33.9%	→	
	男女共同参画、女性活躍の推進	24.8%	25.5%	→	
天理ならではの魅力を活かした 「賑わい」の創造	観光・国際交流	天理の魅力を活かした観光振興	34.3%	36.9%	→
	文化・スポーツ	芸術文化やスポーツに親しむ機会や場所	38.5%	44.3%	→
	魅力創造	地域内外に向けた天理の魅力の発信	23.6%	29.5%	→
活力あふれる「産業」の推進と 安心して働ける場の創出	農林業	農林業の振興	11.4%	14.0%	→
	商工業	商工業の振興	13.0%	16.5%	→
	雇用・就労	市内の就労環境	11.1%	12.6%	→
災害や社会変容に備えた 「安全・安心」して 暮らせるまちづくりの確立	防災	日頃の防災対策	30.8%	38.5%	→
	防犯・交通安全	日常生活の中での犯罪や事故への対策	25.6%	30.3%	→
	消防・救急	消防・救急体制	51.7%	52.9%	→
	消費生活	消費者トラブルに対する相談窓口等の体制	17.9%	15.7%	→
都市基盤の整備と環境保全による 快適で住みやすい「都市環境」の確立	土地利用・道路・交通	住みやすい都市環境に向けた整備	32.1%	29.7%	→
		公共交通機関の利便性	25.6%	29.0%	→
	緑・河川・景観	公園・緑地等の憩いの場	34.7%	37.8%	→
		天理らしい景観と歴史的風土の保存に向けた取組み	32.0%	35.9%	→
	住宅	良好な住環境の整備	27.8%	30.9%	→
	上下水道	上水道の整備	60.7%	59.0%	→
	上下水道	下水道の整備	59.2%	57.3%	→
環境保全	地域の環境保全の取組み	28.1%	29.5%	→	
多様な連携・協働による 持続可能な「行財政運営」の推進	行政経営	適切な行財政運営に向けた取組み	21.0%	21.4%	→
	連携	県や周辺市町村との連携体制	22.2%	23.1%	→

4. 10年後の天理市について

「10年後の天理市がどうなってほしいか」について、次のような意見をいただきました。

○全世代共通の声

- ・誰もが住みやすいまち ・子育て世代にやさしいまち
- ・働きやすいまち ・にぎわい、活気があるまち
- ・高齢者になっても安心して暮らせるまち
- ・若い世代が住みたいと思えるようなまち ・交通の便がよいまち



○10代・20代の声

- ・障害のある方とともに生活しやすい環境が整っているまち
- ・ジェンダーに寛容なまち ・どの年齢のひと住みやすいまち
- ・交通の便がよいまち ・環境にやさしいまち
- ・女性が活躍できるまち ・現状が維持された平和なまち
- ・夜も安心して歩けるまち ・若者がもっと活躍できるまち

○30・40・50代の声

- ・子どもが安心していきいきと遊べるまち
- ・子どもの教育・学習環境が整ったまち
- ・道路・交通が整備されたまち ・高齢者が自立し活躍できるまち
- ・市民と行政の距離が近いまち ・多様なマイノリティーに理解のあるまち
- ・新しいものと古いものが共存しているまち ・防災に強いまち
- ・住み続けたいと思えるまち ・みんなで助け合えるまち



○60代以上の声

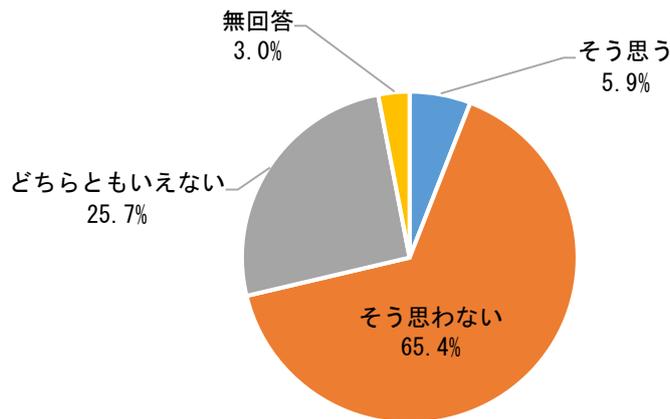


- ・子どもを預けられる環境が整っているまち
- ・公共交通機関が整っているまち
- ・商店街などに以前のようなにぎわいがあるまち
- ・福祉が充実したまち ・安全安心なまち
- ・高齢者が働ける場所が整っているまち

5. 男女共同参画について

社会情勢や地域の実情に対応した男女共同参画のまちづくりを進めるために、天理市が取り組むべき課題と今後の施策の方向性を明らかにすることを目的として、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。

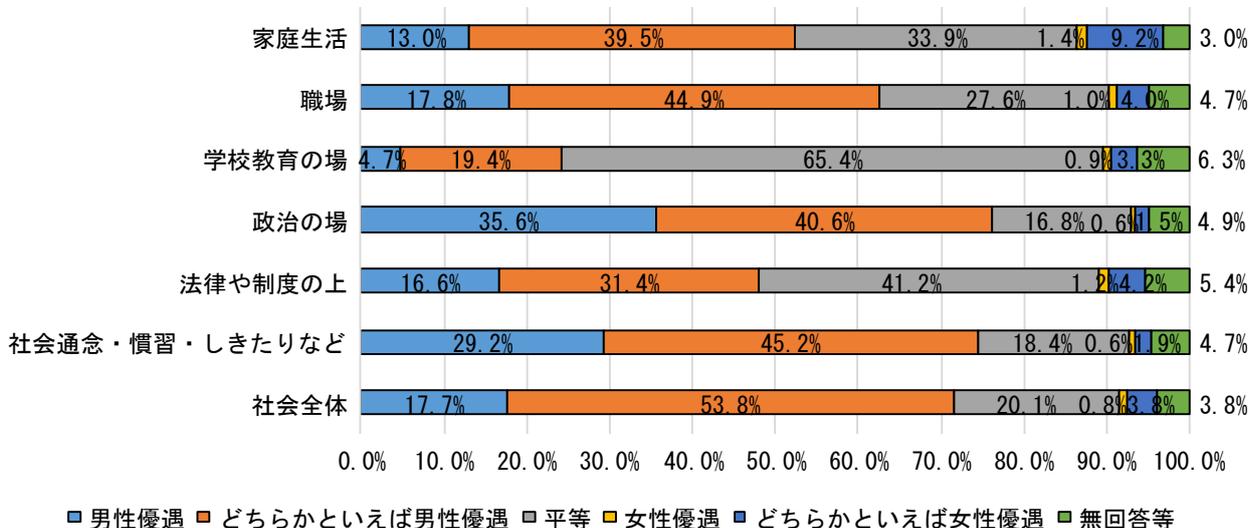
(1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思われますか。



(2) 社会生活における次の場面において、男女平等であると思われますか。

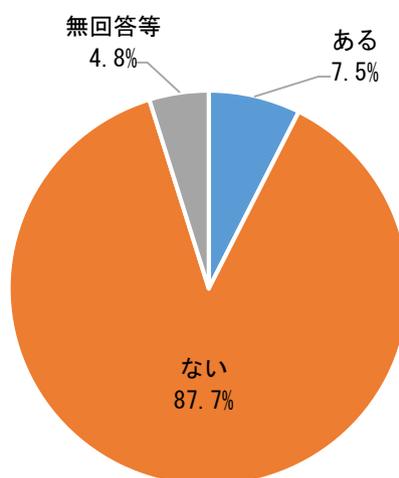
7つの場面における男女の平等感について、「平等」と答えた人の割合が最も高かったのは「学校教育の場」が65.4%、次いで「法律や制度の上」が41.2%でした。

「学校教育の場」以外では全体的に「男性が優遇」「どちらかといえば男性優遇」されていると感じている人の割合が高くなっており、中でも「政治の場」「社会通念・慣習・しきたりなど」「社会全体」「職場」はどの項目も60%以上となっています。

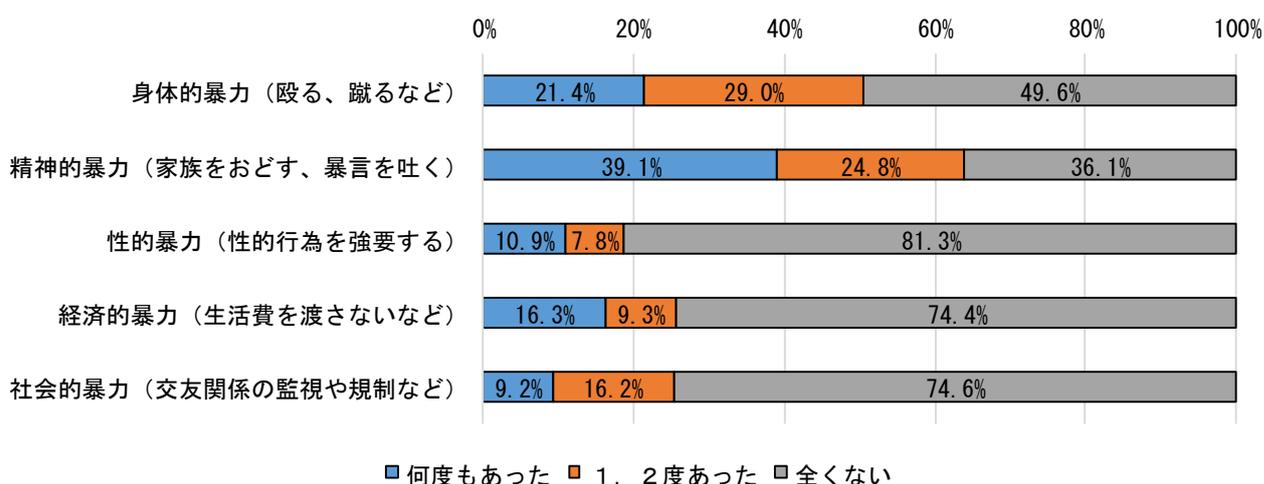


(3) 男女の人権についてお聞きします。

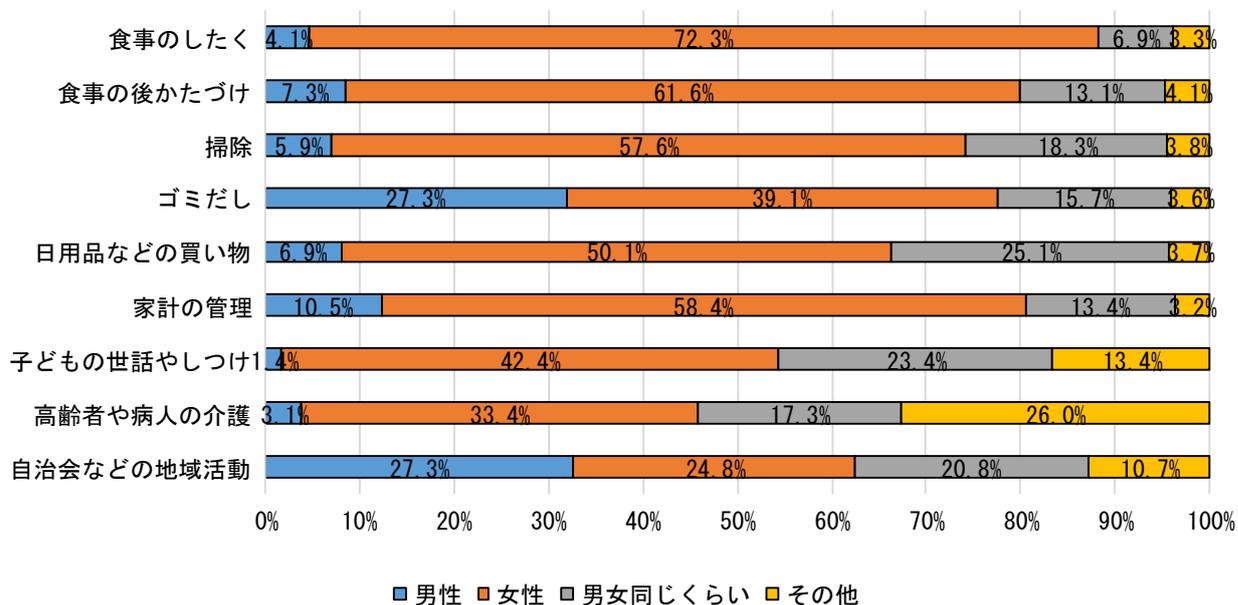
これまでに配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンス（親密な関係にあるパートナーからの暴力）を受けたことがありますか。



配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンスを受けたことがあると答えた人の中で、「精神的暴力」が63.9%と最も高く、続いて「身体的暴力」が50.4%、「経済的暴力」が25.6%、「社会的暴力」が25.4%、「性的暴力」が18.7%となっています。



(4) 家族でお住まいの方にお聞きします。あなたの家庭では、次のような役割は、現在どなたが主に担当されていますか。



「自治会などの地域活動」のみ男性の割合が大きいです。その他の項目では女性の割合が高くなっています。特に「食事のしたく」では70%以上、「食事の後のかたづけ」「掃除」「家計の管理」では約60%となっています。

自由意見

市への意見・提案として359人の方からご意見をいただきました。寄せられた意見等の中から、第6次総合計画の政策体系上の章（分野）・内容別に主なものを抜粋して、市の対応方針と共に掲載します。※紙面の都合上、文章を短縮しているものもあります。

1. 誰もが地域で安心して健やかに暮らせる「福祉」の充実

（地域福祉、健康・保健・医療、子育て支援、高齢福祉、障害福祉）

■健康で長生きするため、体操教室をしていただきたい（近くの公民館等で）
（丹波市・70代以上）

➢「活脳教室・クラブ」「STEP体操」「いきいき百歳体操」「ふれあい教室」「サロン」等、介護予防等を目的とした通いの場が実施されています。お近くの公民館にお問い合わせください。

■病院間の提携や紹介先の制約があるので、自由に希望や選択ができる医療体制にしてほしい。（前栽・50代）

➢それぞれの専門等も考慮して、適切な医療機関を紹介していただけるような体制をこれからもお願いしてまいります。医療に関する診療の苦情や相談等の「医療安全相談窓口」、別の主治医の意見を聞く「セカンドオピニオン外来」なども県に設置されていますので、ご利用ください。

■信頼できる小児科（その他子供を見てもらいたいと思える病院）が少ない。安心して通える大きな病院は偏り過ぎていて小さな子供を連れて行くのが苦痛。（混み過ぎ）（丹波市・30代）

➢市内各小児科医院では各自で予約システムを導入されておられる医院があります。ご活用されるようお願いいたします。

■発達障害の早期発見と環境整備。療育の充実と利用日数の増加。（丹波市・40代）

➢乳幼児健診で発達相談員を配置し、早期発見に努めています。また、健診以外でも相談できるように「のびのび相談」を実施し、相談体制を整えています。

■0歳からでも室内で遊べる場所を増やしてほしい。現在、市役所に室内で遊べる場所はあるが、予約制で急遽遊びに行くことができない。（二階堂・30代）

➢天理市子育て世代すこやか支援センター『はぐ〜る』内、すこやかホールは、新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため、予約制で定員を設けております。空きがある場合、当日のお問い合わせにも対応し、ご利用いた

だけのようにしています。また、ドゥーラサロンも現在新型コロナウイルス感染症対策のため予約制とさせていただいております。こちらも、当日の予約が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

■子供が発達障害で言葉でのコミュニケーションが難しく、行動も衝動的で目を離すことができません。福祉サービスも色々利用させていただきありがたいのですが、親がいなくなった将来のことを考えると不安しかありません。人まかせのように思いますが、この子が一人になっても大丈夫なような福祉の充実を尚一層願います。(柳本・10代)

➢いわゆる「親亡き後」の問題は、全国的な課題となっています。今後も関係機関と連携を取りながら協議を進めていきます。

■低所得の一人暮らしです。電話もガラケーのみです。もし電球の取替とか屋根の雨もりとかが生じた時等とっても不安です。(前栽・70代以上)

➢ひとり暮らしや高齢者世帯(市町村民税非課税世帯対象)向けに、居室の清掃や電球の交換、草引き等の軽易な日常生活上の援助を行う高齢福祉サービスを実施しています。また令和3年度より地域住民が高齢者の日々の生活の困りごとを支援する有償ボランティア制度を創設します。

■障害のある人に対する就労支援の充実。(朝和・50代)

➢障害のある人が一般就労へと移行できるようにサービス事業所と連携を図るとともに、天理市しごとセンター、ハローワーク、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターと連携し、就労支援に繋げていきます。

※天理市しごとセンターにある、奈良ハローワーク出張所においては、専門相談員による障害のある方の就労相談日を設けております。また「しごとフェア」等イベントの開催を通じて雇用の充実に努めてまいります。

■福祉サービスの事業を分かりやすく、受けやすくしてほしい。(丹波市・50代)

➢介護サービス・高齢者サービスについて、市では独自に介護保険サービスの利用方法や内容を分かりやすく記載したパンフレットを作成し、地域の医療機関や公共施設に配布するなどの周知を行い、誰もがサービスの選択をしやすい環境づくりに努めています。また高齢化の進む2025年、2040年も見据え、本市の実情に見合った必要な介護保険サービス基盤の整備量の見込みを適切に見定めるため奈良県とも情報連携に努めつつ、全ての方が必要なときに適切な介護保険サービスを受けられるよう適切な整備量を図ってまいります。

障害福祉については、障害者手帳を新規で交付する際等に「障害福祉のご案内」を配布し、社会福祉課内の相談員より説明をしています。今後も引き続き、分かりやすい説明に努めます。

- 介護関係の仕事従事者への収入支援。同仕事関係の環境改善。(柳本・60代)
 - 介護報酬において介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境整備とともに、介護職員の賃金改善に充てるための処遇改善加算の報酬制度があります。SNS や HP を通じて介護職場の魅力を発信するなど、人材確保、定着にむけた環境改善に努めてまいります。

- 児童の放課後デイサービスを誰にでも利用できるサービスにしていきたい。(前栽・40代)
 - 放課後等デイサービスは、生活能力の向上のために必要な訓練等を行う障害児通所支援です。対象児童には、障害者手帳の交付を受けていることや特別児童扶養手当の障害認定を受けていること等の要件がございます。

- 子供の医療費助成を高校生まで延長してほしい。(櫛本・50代)
 - 子ども医療費助成の対象年齢につきましては、県基準に基づき実施しております。

- 少子化対策に向けて、子供をたくさん産んでも安心して働きながら子育てできるように保育園を充実させていただきたいです。産後も職場復帰できるように、保育園に申込みしたら入園できる体制を整えていただきたいです。子育て支援として出産費用の補助金にも力を入れて欲しいです。(柳本・40代)
 - 待機児童の解消に向けて、令和5年4月に新しい民間保育所を1園開園する予定で事業を進めております。また、こども園化により保育所定員を増やす計画です。また、保育所入所については、毎月、児童を追加で受入可能な保育施設に対して、保育の必要度が高い方に入所していただけるように入所選考を行っております。

出産費用の補助金について、健康推進課での妊婦健診の費用として、97,500円を補助しております。令和3年度より100,000円に補助額を引き上げる予定です。

- ヤングケアラーの現状、ヤングケアラーに対しての政策。(井戸堂・60代)
 - 福祉、教育など児童を取り巻く関係機関との連携を密にすることにより、早期発見に努めています。また、ケース会議等において取り巻く環境を踏まえ、対応策を関係機関と協議しています。

ヤングケアラー等、複合的な課題や制度の狭間にある課題を整理し、包括的な相談・支援体制のあり方を検討するために、令和3年度より「総合福祉会議（仮）」を新たに設立し、政策形成を行っていきます。

2. 地域の資源や人材を活用し、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育」の充実

（就学前・学校教育、青少年・生涯学習、文化財、人権・男女共同参画）

■前栽幼稚園に駐車場が欲しい。車で送迎させてほしい。（前栽・30代）

➢小学校になると急に分団での通学となるため子どもにとっての負担は大きいものになります、また、四季折々の変化を子ども達に保護者とともに感じていたいただきたいので、歩いて通園する経験が大切であると考え、幼稚園では取り組んできています。しかし、現在預かり保育を利用しておられる方用に駐車場を確保し保護者のニーズに答えられるようにしています。

■幼稚園も給食にしてほしいです。小学校から「何でも残さず食べよう」としても幼稚園などで好きな物が多いお弁当を食べていたのにいきなり！？と困る子もいると思います。なので、初めての集団生活(幼児期)から、給食をスタートさせる事で子ども達もスムーズに慣れ、様々な物を食べられる様になるし、食育にも良いと思います。（やはり先生に褒められたり、お友達と同じ物を食べる事で苦手な物への意識も減ります）（前栽・30代）

➢保護者の給食開始に対してのニーズがある事は存じています。しかし、現在市立幼稚園には給食設備がなく、自園で調理することが出来ません。前栽幼稚園では令和3年度調理室の設置工事を行ない令和4年度より給食を開始する予定になっています。

■小学生以降の体力が全国的に下がってきているとニュースでみたが、学校側が体力つける活動に意欲的ではない。このような活動は積極的にしてほしい。

（山の辺・30代）

➢小学生の体力向上に向け、様々な取組を各校、計画的に行っていますが、今までのマラソン大会等の行事も大切にしながら、今後も進めてまいります。

■子ども達がボランティアなど積極的に参加できるような機会があればより地域と繋がりができて良いと思います。小中高色々な学校でそんな機会が知れたらいいです。（山の辺・20代）

➢ボランティア活動を行うにあたり、子どもたち自身が住んでいる地域に問題意識をもつことが大切であると考えます。子どもたちのボランティア活動につながる教育を行ってまいります。

■若い世代で、DV や性暴力が起きている現状があります。小、中学校のときからからだを大切にすることを学ぶ機会を増やしてください。(朝和・50代)

➢DV等が判明した場合、すぐに対応できるように体制は整っております。また、学校においても保健の授業等でDVや性暴力について取り上げることで、子どもたちに自分のからだについて考える機会をとってまいります。

■少子化が進む今日であります。そんな中、子ども会が縮小傾向にあります。私は子ども会のキャンプが楽しく、リーダーさんがかっこよくてジュニアシニアリーダーになり活動してきました。私が先輩方にいただいたことを後輩たちに繋いでいったつもりですが、今ではリーダーの人数の減少、活動の場の減少が現実であります。活動する場は自分たちで作っていくものだと思いますが…子どもたちが校区越えて繋がっていける活動の機会を作っていただく、または、無くさないようお願いしたい。(朝和・20代)

➢従来の子ども会行事だけでなく、地域団体と連携協議し、地元の活性につながる新しい活動を企画しているところです。また、リーダーの皆さまにとってもやりがいや意義が感じられる活動の場の創出に努めてまいります。

■小中学校において何かと土日に行事等がありますがその都度月曜が代休となり、学びの時間が少ない気がします。代休を取るならその分平日並みの授業をしていただきたいと思います。(前栽・40代)

➢土日に学校行事があった際には、月曜日に代休を取ることが多いですが、学習時間は確保できております。さらに子どもたちにとって充実した授業になるよう努めてまいります。

■教育。小学校等、いじめ、不登校に対する対応。市としての対応としては、力を入れているようには思えない。各小学校の教諭の方々だけでは限界がある様に思う。保護者または、本人(児童)が直接頼れる場。あるのであればもう少し力を入れて公表すべき。(丹波市・30代)

➢教育総合センターでは、いじめや不登校等の問題に悩む子どもや保護者へ教育相談による心のケアを行っています。特に不登校支援として「適応指導教室」の開設や「ゆうフレンド派遣」事業を実施しています。

■天理市民大学が事業廃止によりなくなりましたが受講の希望者はあると思います。(前栽・70代以上)

➢天理市民大学は事業廃止となりましたが、山の辺文化会議への委託事業として、市民公開講座(文化・歴史を学ぶ講演)を開催しています。令和3年度は文化センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となるため、市民会館での開催を予定しています。

■数年前から図書館を利用するようになりました。蔵書については予算に限りがあると思うのですができるだけ新しい物も入れていただきたいと思えます。市役所の隣に位置し、用事のついでに立ち寄ることもあります。そのためか駐輪場がいつもいっぱいです。中にはずっと停めてあるのか(?)と思われる自転車もあります。その対策も考えていただけるとありがたいです。(前裁・60代)

➢いつもご利用ありがとうございます。蔵書については、できるだけ多くの方に利用していただけるよう、様々な新刊情報や利用者の要望を勘案し、蔵書構築に努めてまいります。また3月から電子図書館サービスを開始しますので、そちらも御利用ください。

駐車場について、庁舎敷地内には3カ所駐輪場があり、1ヶ所目は西側駐車場内、2ヶ所目は文化センター南側(休日返却口近く)3ヶ所目は庁舎東側玄関側です。利用される駐輪場が満杯の場合はご迷惑をお掛けしますが他の駐輪場をご利用下さるようご協力お願いします。また、多くの方に利用頂くため、利用される方には整理し駐輪して下さるよう周知するとともに、放置自転車等にも留意してまいります。

3. 天理ならではの魅力を活かした「賑わい」の創造

(観光・国際交流、文化・スポーツ、魅力創造)

■天理市は、天理大学、天理高校などスポーツが全国的にも強い学校がある。今以上に、市としてもスポーツの町を全国に発信してもらい、天理教・学校側・天理市と協力し合い日本一のスポーツの町として町起こしを目指してほしい。(二階堂・60代)

➢令和元年度より、「天理トップアスリート地域貢献プロジェクト」を実施しております。天理のトップアスリートである柔道の太野将平選手とラグビーの立川理道選手にスポーツ政策特別顧問に就任いただき、彼ら監修のもと、天理大学等で全国的に活躍を続けているクラブや選手などを紹介し、市内外の人々とスポーツを通じた交流を行うことで、スポーツの魅力を多くの人に感じていただくと同時に市のPRを行っていくというものです。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、令和3年度以降も実施を予定しております。

■文化財と観光業との連携。(前裁・20代)

➢天理市を含めた桜井市及び磯城郡のエリアの文化財部門と観光部門でヤマト地域連携推進協議会を設置し、連携した地域振興を行っております。今後も歴史的文化を活かした地域振興に取り組んでまいります。

■コフンができて、若い世帯が天理市に注目しているのに、その世帯を呼びこみ暮らせるアピールや住宅が少ない。天理市の未来を考えると、若い世帯に住んでもらうコトがとても重要に思うが、コフンがただの公園でとまり次に全くいかせていない…残念に思う。(コフンのおかげで)住みたいなという興味のあるうちに、取り込むべきだと思う。宗教都市という少し暗いイナージから脱却するチャンスを逃さないでほしい。(山の辺・40代)

➢天理駅前広場「コフン」は、イベントの開催や観光・ものづくり、農業情報の発信、近隣住民の憩いの場として活用されることで、市の玄関口における継続的な賑わいを創出しています。今後、天理駅前広場「コフン」で生まれた賑わい・支え合いの好循環の流れを継続的なものとし、周辺地域に波及させる取組みを推進してまいります。

■大きくて立派な古墳もさることながら、知る人ぞ知るような古墳もたくさんあるので、そういったところを整備して、大阪のような世界遺産とまでいなくても、他県からでも人が集まってきてもらえるようになればと思います。寺神観光で終わらせず、他の地域にまで人が流れてくれれば、地域振興にもつながるのではないかと考えます。(前栽・40代)

➢現在も市内に所在する多数の古墳について解説書刊行・ガイドツアー開催・説明板維持管理などを通じて、有名古墳のみならず発信に努めているところですが、今後ともより一層の充実を図っていきます。

■本通りが少し淋しい気もするので商業施設が増えたら、学生や若者が多いまちなので栄えるのではないかと思います。(無回答・20代)

➢「Art-Space TARN」での作品展示やワークショップを行うことにより「芸術的文化に出会える街」として賑わいを創出します。また中心市街地の活性化についても市商工会、商店街協同組合等と連携をしながら施策を講じていきます。

■移住に対する取組みが薄く、移住者が地域と関われる接点がないので町の情報が入ってこないし、よく分かりません。(朝和・70代以上)

➢高原地域では、移住者の方が地域に溶け込むお手伝いをする地元の方による団体が活動しています。今後そういった取組みを全市に広げていけるよう検討を進めてまいります。

■若年層の定住化への促進。(前栽・20代)

➢若い世代に移住・定住してもらうには、子育てがしやすい環境であることと働く場の創出が重要であると考え、妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない子育て支援体制を構築し、若い世代が子育てに希望を持てる環境を整備し

ています。また、働く場の創出として、しごとセンターを設置や、テレワーク等の多様な働き方の実現を推進するとともに、市内学生の就職支援や人材を求める市内企業との人材マッチングを充実して雇用を促進しています。

4. 活力あふれる「産業」の推進と安心して働ける場の創出

(農林業、商工業、雇用・就労)

■イノシシの退治。(電柵等では限界があります。数を減らす必要があります。) 農地管理への補助の充実。(環境保全・若者の定住につながります。)(柳本・70代以上)

➢天理市では猟友会のメンバーからベテランを選別して、鳥獣被害防止実施隊として毎年期間や場所を限定して集中的な捕獲事業を行っております。これからも実施隊とともに捕獲事業に従事してまいります。農地管理については、現制度内で対応をしたいと考えます。

■農業労働者の高齢化による農地の放置(朝和・60代)

➢耕作が滞っている農地について、貸し手と借り手との間を担っている農地中間管理機構が存在し、市の農林課も協力して対応しておりますので、一度ご相談ください。

■田畑の荒地が目につきます。雑草や害虫が発生し、周囲の迷惑になっています。各自管理するように、注意喚起をお願いします。(井戸堂・50代)

➢広報紙等で農地管理をお願いしているところですが、必要に応じて土地所有者に農地の適正管理についての通知を送付してまいります。

■ちゃんと生活できる町づくりの基本になるのは、やはり雇用をちゃんと作ることだと思います。ちゃんと働く人がいるから、福祉や子育てに力を入れることができる。今は色々な働き方があると思うので、企業にも個人にもより働きやすい環境を作って、雇用を増していく努力をしてほしいです。(柳本・50代)

➢奈良ハローワークと連携し、就労マッチングの場を設け、就労の促進を図ります。

■人口減を前提とした計画ではなく、他市町村から人を集め、市の人口を増やす取り組みを考えていただきたい。今、市内に存在する、観光や産業だけではなく、企業や大学を誘致するといった施策を実施していただきたい。(二階堂・40代)

➢本市は人口減少の入り口にあり、今後の市民生活・地元経済・行政運営に与える影響は年々大きくなっていきます。人口減少対策を本市の最優先課題

と捉え、若い世代を中心に将来にわたって市民が安心して働き、希望に応じた結婚、出産、子育てができる地域社会の構築を目指します。

また、企業の誘致について、天理市企業立地支援条例により企業に対して優遇制度を設けております。天理市での企業進出が魅力的であると考えていただけるよう、誘致を推進してまいります。

5. 災害や社会変容に備えた「安全・安心」して暮らせるまちづくりの確立

(防災、防犯・交通安全、消防・救急、消費生活)

■住宅地であるのに車の往来が激しく、道路が狭いのにダンプなどの大型車が走るため道路がガタガタである。隣同士の土地(特に人の目が見つからないところに夜中)に人が潜んでいたり、土地に侵入してきたりと非常に怖い思いをしている。街灯を増やしたり、街の整備、農地を残こし、昔より住みやすい環境を維持してほしい。(前栽・50代)

➢本市では、犯罪を未然に防ぐ環境づくり及び交通事故の発生抑制を目的に、自治会からの申請に基づき、設置基準を満たす場所にLED防犯灯の設置を行っています。令和3年度も期間を設けて募集を行う予定でありますので、設置場所については、自治会長にご相談ください。

■マンネリ化した訓練の見直し。奈良県広域消防組合参画による、職員数の減員による災害時の対応への不安。(丹波市・60代)

➢毎年1回、各小学校区ごとに天理市防災訓練を行っており、主に自主防災組織、自治会の方々に避難行動要支援者名簿を活用した、避難行動要支援者安否確認訓練を行っています。また、前回の防災訓練から新たに市内の防災士に避難所運営デモンストレーションに参加いただきました。今後も、新たな取り組みを導入し、訓練を行ってまいりたいと考えております。

また、職員数について、人口減少やこれによる社会情勢の変化により財政規模が縮小傾向にある中で、平成26年度の奈良県広域消防組合発足以降、広域化によるメリットを活かし、少ない経費で必要な消防力を確保していくため、通信指令センターや事務系部門を統一化し、現在は災害現場に対応する職員の大幅な減員をすることなく、災害発生時、直近署所からの出動により現場到着時間の短縮を始め、災害状況に応じた出動隊を追加投入する等、広域化によるスケールメリットを活かした体制を構築しています。今後は署所の再編を含め、人員・資機材の有効な配置を進めていく予定となっております。

■コロナ対策について、天理市では具体的にどのような取り組みを行っているのか、もっと分かりやすく示してほしいです。県内でも多くクラスター発生している方だと思うので、とても不安です。市内感染者の感染経路など、随時調査

をしてほしいし、「調査中」などで終わらせないでほしいです。(県のホームページではそのままになっていることが多いので…)大変とは思いますが、安心して、コロナ対策をした中で生活できることを望みます。(無回答・30代)

➤天理市では、天理地区PCR検査センターを設けており、市民が広く検査を受けられ、安心していただける取組みを行っています。その他の取組みの詳細については、天理市ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連情報」を参照してください。感染経路等の疫学的調査については、感染症法上、管轄保健所の権限によって行われ、結果の公表に関しても、知事の権限として、一元的に行われます。

また、本市では天理市新型コロナウイルスワクチン接種実施本部を設置し、集団接種・個別接種の実施、高齢者施設での接種など市民のみなさんが安心してワクチン接種できるよう各種調整を進めています。

■現状で一番大切だと考えるのは南海トラフなどをはじめとした災害が懸念されているため、災害対策に注力すべきではないかと考えます。関西で大地震が来た場合、関西の都市機能は確実にマヒします。それに津波の影響で沿岸部からの支援は滞ります。また日本の東西をつなぐ鉄道網に壊滅的な打撃が受けられることが予想されます。その後、政府から支援は貰えると思いますが時間が大きくかかります。その時にできるだけ長く息を止めていられるように今の内から貯蓄すべきではないのだろうか。また、その時の功績が認められれば全国に安心できる市としてアピールすることができます。倒壊した家屋は貯蓄した分で市民を労働者として扱って再興させ地域経済を回せます。ですので災害対策に大きく注力すべきだと考えます。(無回答・20代)

➤市内の指定避難所47カ所全てに防災倉庫を設置し計画的に備蓄しており、中の物品は、簡易寝袋、毛布、発電機、マルチルーム、折り畳み式ベッド等を備蓄し整備を進めておりますが、大規模災害時に物品が不足することも考えられます。

災害時の最低限必要な物資を検証し不足しそうな物資については関係民間事業者との協定などの推進に努めてまいります。また、市民のみなさま方も各家庭内で3日分程度の食糧や水などを備蓄していただくこと等の自助・共助・公助の啓発に努めてまいりたいと考えております。

■弁護士相談をしたいと役所に電話したら、コロナの為電話相談のみと言われた。電話で始めての人に本当に困ってる事を相談できない。対策を考えたら対面でできるはず。役所の人には相談室が狭いからムリ、と冷たく言われた。(丹波市・50代)

➤現在、新型コロナウイルス感染症対応のため、弁護士相談及び司法書士相談は電話相談となっております。対面での相談の再開に関しましては、今後の感

染状況を踏まえながら、早い時期に対面相談ができるよう検討してまいります。

6. 都市基盤の整備と環境保全による快適で住みやすい「都市環境」の確立

(土地利用・道路・交通、緑・河川・景観、住宅、上下水道、環境保全)

■狭い道路で危険な場所がまだまだあり、小さな子供達に危険が及びます。できる限り整備をお願いします。(丹波市・50代)

➢道路整備(修繕)につきましては、地元区長からの要望を受け、現地確認し検証した上、対応必要箇所については優先順位をつけて、対応を検討させていただいております。

■バスの本数をもう少し増やしてほしいです。(無回答・20代)

➢全国的な人口減少により、公共交通の利用が減少している中、鉄道会社やバス会社は、現在運行している路線をいかに維持していくかという課題を抱えている状況です。増便等については各交通事業者へ要望していますが、現在の利用状況ではかなり難しいという回答をいただいております。

また、コミュニティバスに関しては、現在西部線と東部線各1台ずつで運行していますが、道幅の問題や民間事業者との競合の問題、予算上の問題等から、停留所の増設や増便は難しい状況です。

■都市部へのアクセスの充実。(丹波市・40代)

➢本市の地域公共交通においては、市域を跨ぐ広域的基幹交通(鉄道・路線バス)と市内の移動を担う地域内交通(コミュニティバス、デマンドタクシー、その他民間運営の交通)とが、鉄道駅を中心に連携して地域と地域を結ぶネットワークを形成し、通勤、通学、通院、買物等の暮らしを支えることができる利便性の高い地域公共交通網の形成に向けた取組みを進めてまいります。

■道路の整備。交通機関の利便性の充実。(丹波市・70代以上)

➢今後も、最適な交通のあり方及び移動ニーズに応じた交通サービスの提供等について、交通事業者・道路管理者・利用者等を構成員とする天理市地域公共交通活性化協議会や県内の市町村長及び交通事業者の代表者等を構成員とする奈良県地域交通改善協議会において検討してまいります。

■上下水道料金が低い。(前裁・70代以上)

➢上下水道事業は、独立採算制を原則としており、主にお客様からの料金収入によって事業を運営しています。

市町村によって、水源の種類や水質、人口、事業規模、地理的条件などが違うため、水道水の製造及び給水に要する費用や施設の維持管理に要する費用（原価）が異なり、上下水道料金に差が生じることとなります。人口減少等により料金収入も減少し、厳しい財政状況が続いておりますが、市民の皆様が大切に水道水をご使用いただいていることを認識し、今後も、水源の有効活用やコスト削減等に加えて計画的な施設更新を実施することで、料金の上昇を抑制しながら、安全で安定した事業運営に努めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

■空家や空地の有効活用。（山の辺・30代）

➢天理市では、空き家の流通・利活用を促進し、管理不全となる空き家の抑制と天理市への移住・定住の促進を図るため、空き家の賃貸・売却を希望する人（所有者）と空き家の購入・賃借を希望する人（利用者等）を、天理市空き家バンクを通じて情報を相互に交換しマッチングする「天理市空き家バンク制度」を実施しています。また、空き家バンクを活用して移住を希望する方の中には、農地を少し保有して「農ある暮らし」を求める方も多くおられ、こうしたニーズに対応するとともに遊休農地発生抑制を図るための対応を天理市空き家等対策協議会及び天理市農業委員会において協議し、令和元年度より、天理市空き家バンクで農地付き空き家の提供が可能となりました。

■公共交通が不便で買い物が不便、（スーパーができると良い）車に乗っている人も年寄りだが返納できない。（朝和・70代以上）

➢高齢化の進展に伴い運転免許の自主返納が進むことが見込まれています。交通事故抑制の観点からも返納促進を図るとともに、関係機関と連携して公共交通網の充実を図り、運転免許を自主返納した高齢者の日常生活における移動支援に資する取組を推進してまいります。

ならコープと移動販売に関する協定を締結し、朝和・柳本校区については水・金曜に、（福住校区については火曜日に）移動販売車を運行しています。ご利用ください。

■高齢者ですので、自家用車が使えなくなると買い物にたちまち困ります。「いちちょう」のバスがたよりになるので、きめ細く運行してほしい。（朝和・70代以上）

➢市では鉄道駅や民営のバス停から概ね半径700m以上離れている公共交通空白地帯を中心に、コミュニティバスやデマンドタクシーを運行させていただいております。高齢化の進展に伴い運転免許の自主返納が進むことが見込まれていますので、交通事故抑制の観点からも返納促進を図るとともに、関係機関と

連携して公共交通網の充実を図り、運転免許を自主返納した高齢者の日常生活における移動支援に資する取組みを推進してまいります。

■市の管轄の公園の整備を最低一年に一度でもやってほしい。数が多いと思うが、草ボウボウ、子供が遊びたくても遊べない。(朝和・70代以上)

➢市内の都市公園については、年2回以上草刈り等の公園整備をしているところです。ご迷惑をおかけしないよう、安心・安全な公園の維持管理に努めます。

■道路交差点付近の白線が経年劣化のため、見えづらい。特に夜間。自動車を夜間運転していると、交差点の停止線、横断歩道白線が消えかかっている場所が天理市内だけでも数十箇所見受けられる。夜間などに安全パトロール車で改修必要場所を調査して早急に改善してもらいたい。このまま放っておけば事故が起こる可能性が増々増加すると思います。(朝和・60代)

➢停止線、横断歩道につきましては公安委員会(警察)で管理されておりますので、当該場所をお示しいただきましたら現場を確認し、市から警察に報告いたします。その他白線についても、当該場所をお示しいただきましたら現場を確認し、引き直しを行います。

■野焼きについて、ずっとそばの畑で野焼きをされてきました。その度洗濯物を入れたり出したりふとんも室屋の中も臭くて大変です。一番恐いのは近くに空屋が沢山ありとても心配して火事になったらと思ったら夜も眠れないときもあります。できたら町から町へにでも取り上げてもらえたらありがたいです。よろしく願います。市の車で火の用心を巡回される時野焼きのことも一緒に伝えてください。(櫛本・40代)

➢「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、野焼きは原則禁止となっておりますが、農業者が害虫駆除のために行う稲わらや刈草の焼却等は例外として認められています。しかし、野焼きの煙が周囲の住宅環境に大きな影響を及ぼす場合は行政指導の対象となり得ます。実際に野焼き実行されているときに連絡をいただければ、現場を確認の上で注意等を行っておりますので、その際に直接ご連絡いただきますようお願い致します。市としましても、地域パトロールをより強化し、広報紙でも注意を呼び掛けておりますので、よろしくお願いいたします。

■現在、粗大ゴミはリクエスト収集になっていますが、回収されるまで家の玄関前に出して置くと、通行人の好奇の目にさらされるだけでなく、通行の邪魔になる可能性もあり躊躇することもあります。経費の問題も有るでしょうが、定期収集を復活していただきたい。(二階堂・60代)

➢集積場へ粗大ごみと、燃やせないごみ等が集積されることによる危険な状況を回避すること、収集コストを低減することを目途として導入しました。現在の方法が定着しているものと認識しておりますので、変更することは考えておりません。

■カラスが、ゴミをあさっている。又、それにより、ゴミがちらかっている場所が、いくつもある為、カラスよけの何かを設置していただきたい。(無回答・20代)

➢集積場の管理は、自治会又は集積場所を利用されている方で管理していただいております。カラス除けのネット等も自治会の方で用意していただきますようご理解ご協力をお願いいたします。

■スーパー等のレジ袋が問題になっている中。45Lの袋に入る小型家電は袋に入れて、金曜日に出すように言われた。こまごました不燃の物は袋に入れるのは当然のことだが炊飯器等の家電は入れる必要がないのではないのでしょうか。(前裁・40代)

➢45Lの袋に入るものが通常の収集対象のごみとなり、それ以上のものは大型ごみになります。収集員がそれらを見分けるため必要となりますので、袋に入れるようご協力をお願いします。

7. 多様な連携・協働による持続可能な「行財政運営」の推進

(行政経営、連携)

■ITを活用した行政経営(いまだ紙ベースでのやりとりを減らすべき)。(前裁・20代)

➢窓口業務を始めとした行政手続きのオンライン化及び庁内業務に先端技術を活用することにより、ペーパーレス化を目指します。

■公共料金を電子マネーで払えるようにしてほしい。HPを新しく、見やすくしてほしい→アプリ化。(井戸堂・30代)

➢令和4年度から公共料金の支払いについて、スマートフォン決済も可能となります(一部対象外有り)。

ホームページについては、より見やすく分かりやすいページ作成を目指します。また、一部サービスはアプリ化されていますのでぜひご活用ください。

(天理市電子母子手帳「はぐ〜る」by 母子モ)

■他市町村のようにマイナンバーカードで全ての証明書がコンビニで発行できるようにお願いします。水道料金の支払いもクレジットカードで支払えるようにお願いします。(櫛本・50代)

➢現在、マイナンバーカードでのコンビニ交付が可能なものは、住民票と印鑑証明書です。今後、対象を増やすことを検討します。

水道料金について、クレジットカードによるお支払いは、市民の皆様にとってメリットがあることは承知しています。一方、天理市からカード会社に支払う手数料の負担が大きくなるため、経費を削減し現行の上下水道料金を維持しているなか、現時点で導入に至っていません。

■平均して他の市に比べて税金面が高いようでびっくりされる。それなら天理市はその税金どう使う？(二階堂・40代)

➢本市の市民税は、地方税法に定められている標準税率を採用しており、他市と比較しても高い状況ではありません。いただいた税金は、市民の命と暮らしを守り、安心安全を確保するため、「福祉」「教育」「安全・安心」に関する施策を中心に「共に支え合うまち天理」の実現に向けた施策の推進に活用させていただいております。

■市議会議員の定数が多いと思います。また議員報酬も高すぎると思います。議員はボランティアにするべき、ヨーロッパの国々のようにすべきです。(前裁・60代)

➢市議会では、平成20年3月、議員定数、報酬等について協議するため、議会改革推進特別委員会を設置し、議員定数、報酬についてのアンケート調査や、校区别懇談会、各種団体との懇談会等を実施し協議した結果、報酬を52万円と決定し、当時20人であった議員定数を、平成23年の一般選挙から18人と改めました。その後も検討を重ね、財政健全化施策の一環として、平成31年の一般選挙から、さらに2人削減し、現在は定数を16人としています。今後も市民の信託に応えられるよう活動してまいります。

■天理市単独での活動ではなく、広く他の組織との連携、助けあいをもっと活発に行うべき。都市計画をもっと融通をもって垣根を越えて(行政の)100年位の先を見据えた都市づくりをするべきと思う。(櫛本・70代以上)

➢市では、山添村、川西町、三宅町、田原本町と大和まほろば広域定住自立圏を締結しており、人口減少問題の克服・地域の創生という課題に連携して取り組んでいます。また、県やその他の市町村との連携も事業に応じ実施しており、今後も必要に応じ広域連携を推進していきます。

また、都市計画について、市のまちづくりの基本方針である天理市都市計画マスタープランにおいて、長期的・総合的なまちづくりの方向性を明らかにし

ながら、まちの将来像や将来の都市構造のあり方を示していくとともに、必要に応じて国・県等とも連携し、コンパクトで持続可能な集約型の都市形成を目指していきます。

■独身で年をとった場合のサポートがない。1人暮らしでの役所や、地域へのサービスが考えられていない。夜遅くかえってきてから、サービスは受けられない。わざわざ休まないといけない。行政サービスの時間延長や、土日、でのサービスが欲しい。その日にしか行けない人がいるのにない。(前裁・50代)

➤行政サービスについて、本市では繁忙期となる3月、4月において、窓口延長日を設け、夜間の手続きを行うことで対応しております。また、マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票・印鑑証明を取得できるようになっております。今後も取得証明書を増やしていく予定です。マイナンバーカードの申請のために、現在月1回日曜午前と平日の夜に延長窓口を設けておりますのでお持ちでない場合はご利用下さい。今後もより市民の方が便利になるように努力してまいります。

■市政だよりみたいなものは発行されていますか？発行されているなら各戸への配布はされていますか？(受けとっていないので)市役所へ取りに行かなければならないのでしょうか？(無回答・60代)

➤天理市では天理市広報「町から町へ」を月1回発行し、自治会にご加入の市民のみなさんには、各自治会より世帯に配布していただいております。また、マンションなどの集合住宅にお住いの場合、その代表者の方に配送することも可能です。広報紙は市役所の他、市内郵便局や市立公民館、天理駅などにも設置しております。

■インターネット等を利用した天理市の情報発信をもっとアクティブにして欲しい。文字・画像だけでなく、できれば、TV番組の様な動画を配信してはどうでしょうか？市民からの投稿動画等を取り上げてほしいのではないのでしょうか？(丹波市・60代)

➤天理市では、公式 Facebook「e~やん天理」のほか、令和2年9月から Instagram を開設するなど、SNS を利用した情報発信を行っています。また、公式 YouTube を今年度から活用し、天理にゆかりのある人物に登場していただいております。市民のみなさんからの投稿では、市ホームページのトップページに写真を掲載できる「われら天理の撮影班！」を平成30年から行っており、動画についても今後検討してまいります。

■福住小中学校は、小中一貫校となりますが、その後使用されなくなる元中学校の校舎や設備等は、どうなりますか？有効活用について、住民の意見を聞く

機会を設定していただければ、もっと良い案も提案されると思います。(福住・60代)

➤福住中学校の利活用については、令和元年度より市HPや広報紙を通じて利活用案の自主提案を募集してきました。令和2年度か3年度中には一部の利活用なりとも実用を目指して取り組んでいます。

■ミスタードーナツや大きい楽器店やサイゼリアなどのチェーン店を若者が手軽に行けるようなお店を増やしてほしいです。若者の声として「天理は遊ぶところが少ない」「天理のイオンは小さすぎる」といった声があり天理市よりも他のところで遊ぶ若者が増えています。高齢者の方の設備は十分備えられていますが若者に対しては、あまり備えられていないなど感じることも多々あります。

(無回答・10代)

➤平成28年に天理駅前広場をリニューアルし、天理駅前広場コフフンとして多世代が活用できる施設となり、多世代のにぎわいが生まれています。また、旧天理消防署跡地を売却し、民間施設WAY書店TSUTAYAが現在営業されています。日本最古の道である山の辺の道沿いにあるトレイルセンターは、市直営から民間の活力の活用のために指定管理者制度を導入し、OFFICE KATSUIにより現在運営しています。また、天理大学との連携により、スポーツの振興にも取り組んでいます。今後も民間の活力を活用しながら、多様な連携を図り、若い方に対しても魅力あるまちづくりについて進めてまいります。

■魅力のある街づくりを目的を定めて実施する必要がある。周辺近郊の人が移住したいと思える街づくりを望みます。(井戸堂・50代)

➤天理駅周辺地区、柳本・朝和校区を中心とする南部地区、福住校区を中心とする高原地区、櫛本校区を中心とする北部地区において、それぞれ「街づくり協議会」を立ち上げ、地域の魅力を活かす活性化プロジェクトを地元産業関係者、大学、地域住民の方々とともに創案し、賑わいのある地域づくりを実行しています。

8. その他

■アンケートに合わない項目が多すぎて、解答に困ることが多い。(前裁・50代)

➤アンケートの回答方法、設問内容につきまして、ご回答いただきやすいように工夫してまいります。

■誰が何処へ住んでもその地域に溶け込める環境づくりを市政の担当部署を作って誰もがその地域で楽しんで暮らせるような天理市にしてほしい。本アンケートをする限りは責任を持って対処してほしい。(朝和・60代)

➢本アンケートでいただいたご意見は、全庁に共有し、暮らしやすいまちづくりを推進していきます。

■もっと市で行われている政策を知ることができると良いのかなと思った。(山の辺・20代)

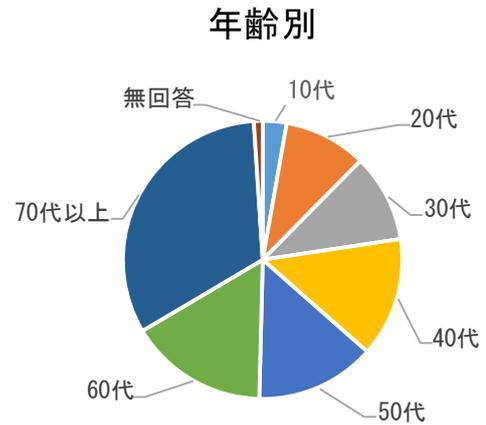
➢令和2年4月に策定した「第6次総合計画」に、アンケートの間1で記載している32の取組みについて具体的に掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。(市ホームページ内「総合政策課」ページにあります)今後またアンケートにご回答いただくときに政策を知っていただけるよう、今後、アンケート用紙に工夫をまいります。

巻末資料

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年代	人数	構成比
10代	33	2.8%
20代	113	9.6%
30代	121	10.2%
40代	164	13.9%
50代	164	13.9%
60代	190	16.1%
70代以上	384	32.5%
無回答	12	1.0%
計	1181人	100.0%



(2) 居住地

校区	計	割合
井戸堂	64	5.4%
山の辺	148	12.5%
前栽	262	22.2%
丹波市	160	13.5%
朝和	159	13.5%
二階堂	120	10.2%
福住	15	1.3%
柳本	94	8.0%
櫛本	131	11.1%
無回答	28	2.4%
計	1181人	100.0%

